

気候変動を意識したコンパクトで丈夫な稲づくり コシヒカリの葉色が急落！ 確実な穂肥を！

1 生育状況（7月8日現在）

○コシヒカリの生育状況は、

草丈「並」、茎数「多」、葉齢の進み「並」、葉色「淡」です。

品 種		草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (葉)	葉色 (SPAD 値)
コシヒカリ (調査点数7)	本年値平均	66	520	11.1	35.0
	指標比	並	多	並	淡い
こしいぶき (調査点数4)	本年値平均	62	536	11.9	36.9
	指標比	並	多	並	並
新 之 助 (調査点数4)	本年値平均	48	590	10.8	35.1
	指標比	やや短	並	やや遅	並

適正穂肥で
栄養凋落防止！



2 出穂期予想と穂肥施用のめやす（7月10日現在：中生：平年比2日程度早い）

品種名		出穂期 予想※	穂肥時期のめやす(出穂前日数)		合計窒素量 (kg/10a)
			1回目	2回目	
中生	こがねもち	7/28	7/10～7/13(18～15)	7/18(10)	1～3
	コシヒカリ	8/ 1	7/14～7/17(18～15)	7/22(10)	1～3
晩生	新 之 助	8/11	7/21～7/24(21～18)	7/30～8/1(12～10)	2～3

※ 稚苗を5月5日移植の場合の予想

※ 出穂期は気象条件で大きく変動することもあるため、今後の情報に留意する。

3 今後の栽培管理

(1) コシヒカリは栄養凋落防止に向け、1回目穂肥を確実に実施する。

1回目の施用時期と量は、草丈・葉色等を確認し決定する(N1.0～1.2kg/10a)。

(2) 出穂期の葉色値(SPAD 値)がコシヒカリで33、新之助で35を下回ると予想される場合には、分施肥体系では3回目、全量基肥施肥体系では追加穂肥が必要になるので予め準備する。

(3) コシヒカリで、まだ中干しを実施している場合は、速やかに飽水管理に移行する。

(4) 斑点米カメムシ類の発生量がやや多くなっているため、密度を低減させるため雑草が結実しない間隔で畦畔や農道の除草を実施する。

(5) 新之助はいもち病に弱い品種なので、ほ場で病斑を見つけたら即防除する。

詳しい技術情報については、
稲作技術情報もご覧ください。



穂肥・除草の時期です。農作業時の安全対策・熱中症対策は万全に！